

ニューズレター雪氷北信越

No. 7 平成元年5月24日
日本雪氷学会北信越支部発行

目次

第2回総会および研究発表会・製品発表検討会の案内／顧問・評議員会、理事
幹事合同会議報告／プログラム／見学会・講演会・学習会報告／その他

第2回定期総会と研究発表会・
製品発表検討会が開催されます。
詳しくは2～3頁のプログラムを御参照下さい。

同封の葉書にて定期総会へのご出欠をお知らせ下さい。また、懇親会へ
のご参加もお書き添え頂ければ幸いです。なお、ご欠席の場合には、委
任状をお願い致します。 平成元年5月31日（水）締切

報告

昭和63年度顧問・評議員会

5月19日（金）、長岡市『けさじろ荘』にて標記会議が開催されました。
会議では、支部長・幹事長から63年度支部事業や平成元年度事業計画が報告
された後、お集まり戴いた15名の顧問・評議員の方々から支部活動に対する
御質問や御意見を戴きました。特に、高齢化社会に対応した雪国づくりとい
う観点から、屋根雪処理への取り組みの御要望が多く、今後の支部活動を考
える上で貴重な御意見を戴きました。最後に、1992年もしくは1993年に長岡
市にて国際雪氷学会が開催される予定であることが報告され、関係各機関の
御協力をお願いしました。

報告

昭和63年度第5回理事・幹事合同会議

5月19日（金）、長岡市『けさじろ荘』にて標記会議が開催されました。
昭和63年度の事業報告・会計報告、アンケートの中間結果の報告のあと、第
2回定期総会の予定が審議されました（いずれも『雪氷北信越3号』6月3日発
行予定を参照）。また、支部事業・会計年度について実情に合うように変更
した方がよいという意見が提出され、支部長・副支部長・幹事長で規約改正
を含めて協議することとなりました。最後に支部長より国際雪氷学会の開催
計画の紹介がありました。

第2回総会および研究発表会・

日時：平成元年6月3日（土）

場所：長岡技術科学大学A講義室

プログラム

・研究発表会Ⅰ（10:45～12:00）

座長 新潟大学積雪地域災害研究センター 小林俊一教授

1. 魚野川流域の融雪流出解析

小池俊雄・早川典生・後藤巖・〇陸 受岐（長岡技科大）

古谷 浩（熊谷組）・八田茂実（世紀東急工業）

2. 中越地方の降雪予測に関する基礎的研究（1）

〇小池俊雄・後藤巖（長岡技科大）・水野隆（新潟県）

桜庭孝一 中本聖一郎（長岡技科大院生）

3. 長岡市における年最大積雪深データの統計解析－来年は大雪か小雪か－

〇早川典生（長岡技科大）・五十嵐高志（長岡雪氷防災研）

4. 雪押込機における雪投入制御の予備的研究

梅村晃由（長岡技科大）・〇佐藤佳昭（同院生）・高波定勝（長岡工高）

内倉章夫（新潟鉄工）

5. 路面凍結の推定・予測手法の研究概報

〇中尾正義・清水増治郎（長岡雪氷防災研）・高橋修平（北見工大）

・昼食（12:00～12:45）

・定期総会（12:45～13:30）

・研究発表会Ⅱ（14:45～16:00）

座長 金沢大学工学部 高瀬信忠教授

6. 住宅周りの「利雪水・治雪水」複合施設

～わが家の“土着”“実用”実験～ 樋口利明（十日町市役所）

7. 新潟県における雪崩の避難勧告と警戒巡視体制について

〇和泉薫・中川康寛（新潟大学積雪地域災害研）

見学会

富山地区見学会報告

20mにも及ぶ積雪をどのように除雪して『雪の壁』を作っていくのか、立山のどこにどの程度の積雪があるのかを立山有料道路管理事務所の本田寿氏よりスライドを使って御説明戴いた後、室堂周辺の除雪作業を見学しました。

日時：平成元年4月23日（日） 場所：立山連峰・弥陀が原～室堂周辺

テーマ：立山連峰における除雪見学 参加者：14名

製品発表検討会プログラム

8. 表層雪崩の発生防止に必要な立木密度—モデル実験の結果—
○遠藤八十一・大関義男・庭野昭二（森林総研・十日町試験地）
9. クリスタルゲレンデの滑り
○対馬勝年（富山大・理）・長久巧一（歯科医）・青木英佳（富山大・理）
10. 厚い積雪薄片の立体写真
○佐藤寿弘・対馬勝年（富山大・理）
11. 水滴計数方式の降雪強度計の試作Ⅱ
田村盛彰（長岡工高）
12. 屋根融雪の自動制御システムの開発Ⅰ
田村盛彰（長岡工高）
13. ジェットポンプによる雪の管内空気輸送の観察
佐藤和秀・山口肇・岩田実（長岡高専）・○近藤敏（長岡技科大）
14. コンプレッサによる雪の管内輸送
山口肇・佐藤和秀・岩田実（長岡高専）・○柳益夫（長岡技科大）
篠田功（植木組）・富田靖史（興和）・田島与典（北日本コンクリート）

・製品発表検討会（16:15～17:15）

座長 長岡技術科学大学 梅村晃由教授

1. Homemade光反射型降雪センサーのノウハウ
今井清保・石田博明（石川高専 機械工学科）
2. 雪温+降水式自動降雪検知装置
田村盛彰（長岡工高）・丸山敏介 石丸民之永（新潟電機）
3. 融雪における均圧管付ヒートパイプの特徴について
佐藤豊（新冷工業）
4. 融雪制御用泡製造機の試作試験
○梅村晃由（長岡技科大）・渡辺聖司（創路高専）・古川征夫（新井測量）

・懇親会（17:25～19:00、第三食堂）

見学会

新潟地区見学会報告

レーダーによってどのようにして雨や雪を計測し、その情報を伝達するのかを建設省北陸地方建設局信濃川工事事務所において御説明戴き、その後、昭和62年度に完成したばかりの薬師岳レーダー施設を見学しました。

日 時：平成元年4月28日（金）、 テーマ：薬師岳レーダ雨雪量計システム
場 所：建設省信濃川工事事務所・薬師岳レーダサイト、参加者：31名

講演会

新潟地区講演会報告

新潟地区講演会が下記の通り開催され、鈴木教授からは除雪技術を大・中・小の3つにわけてとらえる考えたかが提示されるとともに、スライドを使って環境と調和した家づくりの内外の例が紹介されました。太田村長からは、雪を治めてきた沢内村の努力が紹介されるとともに、氷室や雪室を利用した産業やイベントなど村の活性化の試みが報告されました。いずれも、雪国の街づくりを考える上での重要な示唆となりました。（小池幹事 記）

日時：平成元年4月28日PM.1:00～3:30 場所：朝日生命長岡支社ビル六階
テーマ：雪国の街づくりを考えるー来年はきっと雪が降るー、参加者：48名
講師：新潟大学鈴木 哲教授、岩手県和賀郡沢内村太田祖電村長

学習会

新潟地区第3回学習会報告

4月22日長岡工業高等専門学校において、第3回新潟地区学習会が開催された。講師の新潟大学積雪地域災害研究センター小林俊一教授から「ふよきの話」として、ふよき研究の現状、問題点、今後の展望についてのわかりやすい説明がなされた。特にふよき研究のなかで、吹きだまりの研究が遅れていることが指摘され、定常ふよき量の考え方を取り入れた今後の研究進捗が示唆された。また、10カ月のカナダ留学から帰国されたばかりの同講師からは、カナダでの最近の雪氷研究についてもスライドを使って紹介がなされた。参加者は10名であったが熱心な討議も行われ、大変有意義な学習会であった。（和泉幹事 記）

案内

『急流河川と融雪』富山研究集会

土木学会水理委員会主催で、雪と川に関する標記研究会が開催されます。近隣の学・官・民の研究者・技術者の広い領域からの御参加をお待ちしております。（参加費無料）

日時：6月6日（火）10:15-17:00 場所：富山県農協会館会議室（県庁前）
プログラム：

- | | | |
|--------------------------|---------------|---------|
| (1) DNDレーダーによる降雪観測 | 建設省土木研究所 | 吉野文雄室 長 |
| (2) 融雪流出に関する実験的研究 | 金沢大学工学部 | 宇治橋康行助手 |
| (3) 中越地方の降雪現象解明のための基礎的研究 | 長岡技術科学大学 | 小池俊雄助教授 |
| (4) 北陸急流河川の治水ー歴史と展望ー | 建設省北陸地方建設局 | 富山工事事務所 |
| (5) 黒部扇状地の土砂動態 | 東京工業大学 | 石川忠晴助教授 |
| (6) 富山の雪害対策 | 富山県企画県民部水害対策室 | 橋本 清室 長 |
| (7) 貯雪冷房の試み | 富山大学理学部 | 対馬勝年教授 |